

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 第一稀元素化学工業株式会社

コード番号 4082 URL <http://www.dkkk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉井 洋

問合せ先責任者 (役職名) 財務部部長

(氏名) 藤田 三郎

TEL 06-6682-1261

四半期報告書提出予定日 平成22年1月29日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年3月21日～平成21年12月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	11,014	—	1,093	—	1,074	—	849	—
21年3月期第3四半期	11,977	△2.1	457	△58.4	393	△64.3	835	22.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	175.86	—
21年3月期第3四半期	171.25	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	18,191	11,900	65.3	2,487.03
21年3月期	18,365	11,309	61.6	2,316.42

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 11,887百万円 21年3月期 11,304百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年3月期	—	15.00	—		
22年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年3月21日～平成22年3月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	8.9	1,500	—	1,500	—	1,100	512.9	228.33

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	4,880,000株	21年3月期	4,880,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	100,000株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	4,828,780株	21年3月期第3四半期	4,880,000株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は3. 業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。
2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における世界経済は、欧米に於ける景気刺激策の効果が引き続き支えとなるとともに、中国やインド等のアジア諸国の堅調な景気拡大に牽引され、世界的金融・経済危機の後遺症は残るものの、緩やかな回復基調にあります。しかしながら、日本経済においては為替の円高と深刻なデフレが景気回復の足かせとなっており、景気刺激策の反動による景気の二番底が警戒されるなど、先行きが不透明な状況で推移しました。その中で、当社の主要顧客であります自動車業界では、全体として過剰な生産能力を未だ抱えているものの、各国の自動車購入に対するインセンティブ政策の恩恵もあり、順調に生産を回復してまいりました。

このような状況の下、当社は自動車排ガス浄化触媒材料を始めとした主力製品に対する需要回復を、迅速で柔軟な生産体制により着実に販売に結びつけ、当第3四半期会計期間の売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

一方収益面では、徹底した経費削減努力を継続して行い、設備投資だけでなく緊急性の少ない保守修繕費等を極力抑制し出費を抑えると同時に、少数精鋭による業務の推進と生産拠点の最適化により収益体質を強化しました。また、前期の市場価格下落による原材料在庫の簿価修正に加え、今期はたな卸在庫の大幅な圧縮に注力し、それらの効果により利益は大幅に改善いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高11,014百万円、営業利益1,093百万円、経常利益1,074百万円、四半期純利益849百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末比173百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加(2,240百万円)、現金及び預金の増加(365百万円)があったものの、たな卸資産の減少(△1,160百万円)及び固定資産の減少(△1,161百万円)等によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末比764百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加(733百万円)、未払法人税等の増加(579百万円)及び賞与引当金の増加(313百万円)があったものの、短期借入金の減少(△1,900百万円)及び長期借入金の減少(△707百万円)等によるものであります。

なお、当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は2,700百万円となりました。これは主に、売上債権の増加(△2,298百万円)はあったものの、税引前四半期純利益(1,492百万円)、減価償却費(1,049百万円)、減損損失(290百万円)、賞与引当金の増加(313百万円)、たな卸資産の減少(1,160百万円)、仕入債務の増加(702百万円)及び法人税等の還付額(212百万円)等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は650百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得(△244百万円)及び貸付けによる支出(△3百万円)等があったものの、補助金収入(887百万円)等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、2,929百万円の資金の減少となりました。これは主に、短期借入金の減少(△1,900百万円)、長期借入金の減少(△707百万円)、配当金の支払(△136百万円)及び自己株式の取得(△185百万円)によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年10月13日に公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたします。なお、詳しくは本日（平成22年1月28日）別途開示しております「平成22年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(通 期)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想A	13,000	900	900	650	134 74
今回修正予想B	15,000	1,500	1,500	1,100	228 33
増減額 (B-A)	2,000	600	600	450	—
増減率 (%)	15.4	66.7	66.7	69.2	—
前年同期実績	13,778	△496	△546	179	36 78

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,242,116	2,876,853
受取手形及び売掛金	4,270,188	2,029,451
製品	1,086,380	1,578,608
仕掛品	1,029,572	948,139
原材料及び貯蔵品	776,839	1,526,816
未収還付法人税等	—	211,366
その他	1,029,329	1,274,784
貸倒引当金	△1,418	△878
流動資産合計	11,433,008	10,445,141
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,819,328	1,938,836
機械及び装置（純額）	2,536,723	3,578,643
土地	986,025	986,025
その他（純額）	344,386	447,078
有形固定資産合計	5,686,464	6,950,584
無形固定資産	235,462	287,895
投資その他の資産		
その他	836,866	681,707
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	836,864	681,705
固定資産合計	6,758,791	7,920,185
資産合計	18,191,799	18,365,327
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	915,761	182,219
短期借入金	700,000	2,600,000
1年内返済予定の長期借入金	798,398	960,148
未払法人税等	579,246	—
賞与引当金	455,240	142,132
その他	636,061	528,847
流動負債合計	4,084,706	4,413,347
固定負債		
長期借入金	1,694,588	2,240,574
その他	511,996	401,788
固定負債合計	2,206,584	2,642,362
負債合計	6,291,290	7,055,709

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	787,100	787,100
資本剰余金	1,194,589	1,194,589
利益剰余金	10,011,749	9,307,792
自己株式	△185,236	—
株主資本合計	11,808,201	11,289,481
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	79,797	14,663
評価・換算差額等合計	79,797	14,663
新株予約権	12,508	5,472
純資産合計	11,900,508	11,309,617
負債純資産合計	18,191,799	18,365,327

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年3月21日 至 平成21年12月20日)
売上高	11,014,609
売上原価	8,238,767
売上総利益	2,775,841
販売費及び一般管理費	1,682,372
営業利益	1,093,469
営業外収益	
受取利息	1,296
受取配当金	6,425
助成金収入	82,171
その他	21,546
営業外収益合計	111,440
営業外費用	
支払利息	33,191
為替差損	95,395
その他	2,059
営業外費用合計	130,647
経常利益	1,074,262
特別利益	
補助金収入	708,252
その他	903
特別利益合計	709,155
特別損失	
減損損失	290,604
特別損失合計	290,604
税引前四半期純利益	1,492,813
法人税、住民税及び事業税	566,048
法人税等調整額	77,585
法人税等合計	643,634
四半期純利益	849,179

(第3四半期会計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間 (自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)
売上高	4,465,465
売上原価	3,206,705
売上総利益	1,258,760
販売費及び一般管理費	646,761
営業利益	611,998
営業外収益	
受取利息	556
受取配当金	712
助成金収入	16,928
その他	3,823
営業外収益合計	22,020
営業外費用	
支払利息	9,595
為替差損	28,587
その他	871
営業外費用合計	39,054
経常利益	594,964
特別利益	
補助金収入	50,450
その他	903
特別利益合計	51,353
税引前四半期純利益	646,317
法人税、住民税及び事業税	340,146
法人税等調整額	△126,914
法人税等合計	213,232
四半期純利益	433,085

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年3月21日 至 平成21年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,492,813
減価償却費	1,049,069
減損損失	290,604
賞与引当金の増減額 (△は減少)	313,108
前払年金費用の増減額 (△は増加)	39,386
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	540
受取利息及び受取配当金	△7,722
支払利息	33,191
為替差損益 (△は益)	56,191
補助金収入	△708,252
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,298,335
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,160,771
未払消費税等の増減額 (△は減少)	105,233
その他の資産の増減額 (△は増加)	34,169
仕入債務の増減額 (△は減少)	702,854
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	206,731
その他の負債の増減額 (△は減少)	40,342
小計	2,510,698
利息及び配当金の受取額	7,722
利息の支払額	△30,273
法人税等の還付額	212,066
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,700,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△244,147
投資有価証券の取得による支出	△1,137
貸付けによる支出	△3,800
貸付金の回収による収入	2,874
補助金収入	887,461
その他	9,233
投資活動によるキャッシュ・フロー	650,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,900,000
長期借入金の返済による支出	△707,736
自己株式の取得による支出	△185,236
配当金の支払額	△136,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,929,242
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56,191
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	365,262
現金及び現金同等物の期首残高	2,876,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,242,116

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成20年3月21日～12月20日)

科目	前年同四半期 (平成21年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	11,977,354
II 売上原価	9,844,440
売上総利益	2,132,913
III 販売費及び一般管理費	1,675,290
営業利益	457,623
IV 営業外収益	27,901
受取利息及び配当金	8,735
その他営業外収益	19,166
V 営業外費用	91,960
支払利息	47,520
為替差損	43,171
その他営業外費用	1,269
経常利益	393,564
VI 特別利益	1,004,274
VII 特別損失	2,587
税引前四半期純利益	1,395,250
法人税、住民税及び事業税	118,173
法人税等調整額	441,374
四半期純利益	835,702

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間(平成20年3月21日～12月20日)

	前年同四半期 (平成21年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,395,250
減価償却費	1,370,756
賞与引当金の増加額・減少額(△)	△221,904
前払年金費用の増加額(△)・減少額	△23,376
貸倒引当金の増加額・減少額(△)	△180
受取利息及び受取配当金	△8,735
支払利息	47,520
為替差損益	7,254
有形固定資産除却損	2,587
売上債権の増加額(△)・減少額	621,528
たな卸資産の増加額(△)・減少額	54,257
未収消費税等の増加額(△)・減少額	211,839
その他資産の増加額(△)・減少額	△998,017
仕入債務の増加額・減少額(△)	△84,458
未払金・未払費用の増加額・減少額(△)	△90,764
その他負債の増加額・減少額(△)	10,732
小計	2,294,290
利息及び配当金の受取額	8,732
利息の支払額	△46,237
法人税等の支払額	△381,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,875,645
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△719,992
無形固定資産の取得による支出	△203,217
長期前払費用の増加による支出	△34,064
投資有価証券の取得による支出	△22,147
貸付けによる支出	△3,700
貸付金の回収による収入	3,497
その他の投資等の増加額(△)・減少額	9,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	△969,968
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	△100,000
長期借入金の返済による支出	△355,780
配当金の支払額	△151,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	△607,395
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,254
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	291,027
VI 現金及び現金同等物の期首残高	829,859
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,120,887

6. その他の情報

(1) 生産実績

当第3四半期会計期間の生産実績を事業の区分に示すと、次のとおりであります。

区 分	当第3四半期会計期間 (自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)
ジルコニウム化合物 (千円)	2,695,967
その他 (千円)	156,466
合計 (千円)	2,852,434

- (注) 1. 生産金額は実際原価に基づいて算出しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 同一品目であっても複数の用途に用いられることもありますので、生産実績については用途別に示すことが困難であるため、その主要製法別に示すと次のとおりであります。

製法別	当第3四半期会計期間 (自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)
湿式工程品 (千円)	2,511,932
乾式工程品 (千円)	149,612
溶液品 (千円)	129,297
セシウム品 (千円)	61,590
合計 (千円)	2,852,434

- (注) 1. 生産金額は実際原価に基づいて算出しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 製品・原材料仕入実績

当第3四半期会計期間の製品及び原材料の仕入実績を区分に示すと、以下のとおりであります。

区 分	当第3四半期会計期間 (自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)
原材料	
ジルコニウム化合物 (千円)	673,898
その他 (千円)	958,540
小計 (千円)	1,632,438
仕入製品	
ジルコニウム化合物 (千円)	115,999
その他 (千円)	233,320
小計 (千円)	349,319
合計 (千円)	1,981,758

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注の状況

当社は見込生産を行っているため、該当事項はありません。

(4) 販売実績

当第3四半期会計期間の販売実績を示すと、次のとおりであります。

区 分	当第3四半期会計期間 (自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)
ジルコニウム化合物 (千円)	3,944,024
その他 (千円)	521,440
合計 (千円)	4,465,465

用途別販売実績

用途別	当第3四半期会計期間 (自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)
触媒 (千円)	2,940,698
耐火物・ブレーキ材 (千円)	488,023
電子材料・酸素センサー (千円)	408,590
ファインセラミックス (千円)	383,812
その他 (千円)	244,339
合計 (千円)	4,465,465

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第3四半期会計期間の主要な輸出先及び輸出版売高並びに割合は、次のとおりであります。
なお、()内は販売実績に対する輸出版売高の割合であります。

輸出先	当第3四半期会計期間 (自 平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)	割合 (%)
北米 (千円)	868,845	42.7
アジア (千円)	556,914	27.3
欧州 (千円)	550,855	27.1
その他 (千円)	59,746	2.9
合計 (千円)	2,036,361 (45.6%)	100.0

3. 当第3四半期会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	金額 (千円)	割合 (%)
(株)キャタラー	544,022	12.2